

# 令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

学校法人 古沢学園

# 1. 法人の概要

## (1) 基本情報

- ① 法人の名称 学校法人古沢学園
- ② 主たる事務所 広島県広島市中区中島町9番11号  
電話番号 (082)247-3700  
FAX 番号 (082)242-0983  
U R L <https://www.furusawa.com/>

## (2) 建学の精神

広島経営学院設立時より「心技一体」を建学の精神とし、知識及び技術・技能は勿論のこと、精神的にも豊かで、健全なる身体を備えた若者の育成に努めてきた。心・技・体が一体となって三位渾然とした、幅広い知識と能力を持ち人間愛に生きる者は人類の宝である。技術・技能を宿した健全な体を有し、博愛精神・人間愛に満ちた慈愛を持ち、共に協力して創造していく喜びと感動を求めて努力を惜しまない人材を輩出していくことを、古沢学園は設立時から不変の目標としてきた。

本学園の教育方針は、「調和・啓発・創造」に集約される。知識基盤社会において、日本国内はもとより国際的に通用する人間は、個々の能力・人格を認め合う精神的調和のとれた者でなくてはならない。そして精神的調和のとれた者は、その能力・人格を自己啓発及び相互啓発により増進させられる。「今日は昨日よりも、明日は今日よりも勝る」という確信をもとに人は成長を続け、先見性・創造性・独創性を備え判断力に優れた者となる。古沢学園は、「調和・啓発・創造」を方針として掲げた教育により、「心技一体」の建学精神に合致した豊かな人間性と未来を担う優れた知識・技術を応用できる人材の養成を目標としている。

## (3) 学校法人の沿革

昭和49年	千代田経営研究所付属の経営教室として発足
昭和53年	広島経営学院と称し、専門学校として認可される
昭和54年	広島経営学院専門学校と改称する
昭和62年	広島経営学院専門学校1号館 完成 学校法人として認可される
昭和63年	広島工学院専門学校1号館 完成
平成元年	広島工学院専門学校 開校 広島工学院専門学校(自動車工学科)が運輸大臣指定校2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士養成施設〔実技試験免除〕となる
平成2年	広島工学院専門学校1号館 増築 広島工学院専門学校(建築工学科)が広島県認定二級・木造建築士受験資格認定校〔実務経験1年〕となる
平成3年	広島経営学院専門学校が労働大臣指定教育訓練校となる 広島経営学院専門学校2号館(情報教育センター)完成
平成4年	広島工学院専門学校2号館完成 広島経営学院専門学校が実務教育出版と提携する 広島経営学院専門学校が通産省情報化人材育成連携機関委託校となる
平成5年	広島工学院専門学校(電気・電子工学科)が郵政大臣認定校工事担任者アナログ・デジタル総合種養成施設〔基礎免除〕となる
平成6年	広島健康福祉技術専門学校 校舎完成

平成7年	<p>広島健康福祉技術専門学校 開校</p> <p>広島健康福祉技術専門学校(介護福祉士科)が厚生大臣指定介護福祉士養成施設〔国家試験免除〕となる</p> <p>広島経営情報ビジネス専門学校 校舎完成</p> <p>広島工学院専門学校西風新都校 校舎完成</p>
平成8年	<p>広島工学院専門学校(建築工学科)が広島県認定二級・木造建築士受験資格認定校〔実務経験0年〕、通産省認定1級建築施工管理技士受験資格認定校〔実務経験5年〕、通産省認定2級建築施工管理技士受験資格認定校〔実務経験2年〕となる</p> <p>広島工学院専門学校(電気・電子工学科)が通産省指定校第2種電気工事士〔学科・実技とも免除〕となる</p> <p>広島経営情報ビジネス専門学校 開校</p> <p>広島工学院専門学校西風新都学校 開校</p> <p>広島工学院専門学校西風新都校(電気・電子工学科)が郵政大臣認定校工事担任者アナログ・デジタル総合種養成施設〔実技試験免除〕となる</p> <p>広島工学院専門学校西風新都校(自動車整備工学科)が運輸大臣指定校2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士養成施設〔実技試験免除〕となる</p>
平成9年	<p>広島工学院専門学校(建築工学科)が建設省認定1級建築士受験資格認定校〔実務経験4年〕となる</p> <p>広島工学院専門学校西風新都校(土木測量工学科)が建設省認定1級土木施工管理技士受験資格認定校〔実務経験5年〕となる</p> <p>広島工学院専門学校西風新都校(土木測量工学科)が建設省認定2級土木施工管理技士受験資格認定校〔実務経験2年〕となる</p>
平成10年	<p>広島工学院専門学校西風新都校(土木測量工学科)が通産省指定校火薬類取扱保安責任者指定校〔火薬学免除〕となる</p> <p>広島工学院専門学校(電気・電子工学科)が建設省認定1級電気施工管理技士受験資格認定校〔実務経験5年〕となる</p> <p>広島工学院専門学校(電気・電子工学科)が建設省認定2級電気施工管理技士受験資格認定校〔実務経験2年〕となる</p> <p>広島工学院専門学校(土木測量工学科)が建設省認定1級造園施工管理技士受験資格認定校〔実務経験5年〕となる</p> <p>広島工学院専門学校(土木測量工学科)が建設省認定2級造園施工管理技士受験資格認定校〔実務経験2年〕となる</p>
平成11年	<p>広島工学院専門学校(自動車整備工学科を除く学科)を広島工学院専門学校西風新都校と合併し、広島工学院専門学校となる</p> <p>なお、広島工学院専門学校 自動車整備工学科は、広島自動車整備専門学校へと校名変更</p> <p>広島工学院専門学校が、郵政省認定工事担任者アナログ・デジタル総合種養成施設〔試験免除〕となる</p> <p>広島医療保健専門学校 校舎完成</p> <p>広島製菓専門学校 校舎完成</p>
平成12年	<p>広島医療保健専門学校 開校</p> <p>広島医療保健専門学校(理学療法学科・作業療法学科)が厚生労働大臣指定理学療法士、作業療法士養成施設となる</p> <p>広島製菓専門学校 開校</p> <p>広島製菓専門学校(洋菓子科・製菓衛生師科)が厚生労働大臣指定製菓衛生師養成施設となる</p>
平成14年	<p>広島医療保健専門学校(精神保健福祉学科)が厚生労働大臣指定精神保健福祉士一般養成施設となる</p> <p>広島経営情報ビジネス専門学校を広島工学院専門学校へ統合する</p>
平成15年	<p>広島自動車整備専門学校(一級自動車整備学科)が国土交通省指定1種小型整備自動車整備士養成施設〔実技試験免除〕となる</p>

平成 17 年	<p>広島医療保健専門学校（保育介護福祉学科）が厚生労働大臣指定介護福祉士養成施設〔国家試験免除〕となる</p> <p>広島健康福祉技術専門学校（社会福祉学科）が厚生労働大臣指定社会福祉士養成施設となる</p> <p>広島工学院専門学校が（一級自動車整備学科）が国土交通省指定校 1 級小型整備自動車整備士〔実技試験免除〕となる</p> <p>広島工学院専門学校を専門学校 広島工学院大学校へと校名変更</p> <p>広島自動車整備専門学校を専門学校 広島自動車大学校へと校名変更</p>
平成 18 年	<p>専門学校 広島工学院大学校 電気・デジタル通信学科が総務省認定工事担任者 AI・DD 総合種〔実技試験免除〕となる</p>
平成 19 年	<p>広島医療保健専門学校（精神保健福祉学科 通信課程）が厚生労働大臣指定精神保健福祉士短期・一般養成施設となる</p> <p>広島経営学院専門学校を広島 Law&amp;Business 専門学校へと校名変更</p>
平成 20 年	<p>広島健康福祉技術専門学校を専門学校 福祉リソースカレッジ広島へと校名変更</p> <p>広島医療保健専門学校（社会福祉学科）が厚生労働大臣指定社会福祉士一般養成施設となる</p> <p>広島都市学園大学（健康科学部 看護学科）が認可される</p> <p>広島都市学園大学 校舎完成</p>
平成 21 年	<p>広島都市学園大学（健康科学部 看護学科） 開学</p>
平成 25 年	<p>広島都市学園大学（健康科学部 リハビリテーション学科） 開設</p> <p>広島都市学園大学（子ども教育学部 子ども教育学科）が認可される</p>
平成 26 年	<p>広島都市学園大学（子ども教育学部 子ども教育学科）開設</p> <p>広島医療保健専門学校（介護福祉士実務者研修 通信課程）が厚生労働大臣指定介護福祉士実務者研修養成施設となる</p> <p>専門学校 福祉リソースカレッジ広島（介護福祉士実務者研修 通学課程）が厚生労働大臣指定介護福祉士実務者研修養成施設となる</p> <p>広島製菓専門学校 衛生専門課程 洋菓子科（昼間：二年）が職業実践専門課程と認定される</p> <p>専門学校 広島自動車大学校 工業専門課程 自動車整備科（昼間：二年及び四年）が職業実践専門課程と認定される</p> <p>専門学校 広島工学院大学校 工業専門課程 自動車整備科 1 級自動車整備士コース（四年）が職業実践専門課程と認定される</p>
平成 27 年	<p>専門学校 福祉リソースカレッジ広島 教育・社会福祉専門課程 介護福祉士科（昼間：二年）が職業実践専門課程と認定される</p> <p>専門学校 広島工学院大学校 工業専門課程 自動車整備科（昼間：二年）並びに電気・デジタル通信学科が職業実践専門課程と認定される</p> <p>広島製菓専門学校 新校舎完成（広島市中区加古町）</p>
平成 28 年	<p>広島製菓専門学校 新校舎移転</p>
平成 29 年	<p>専門学校福祉リソースカレッジ広島（介護福祉士実務者研修 通信課程）が厚生労働大臣指定介護福祉士実務者研修養成施設となる</p> <p>広島都市学園大学（大学院保健学研究科）設置認可</p>
平成 30 年	<p>広島都市学園大学大学院 保健学研究科開設</p> <p>広島都市学園大学 専攻科 言語聴覚専攻科開設</p> <p>広島医療保健専門学校（精神保健福祉学科 昼間課程・一般養成施設、精神保健福祉学科 通信課程 短期・一般養成施設）並びに（社会福祉学科 通信課程・一般養成施設）を専門学校 福祉リソースカレッジ広島へ移転</p> <p>専門学校 福祉リソースカレッジ広島（精神保健福祉学科 昼間課程・一般養成施設、精神保健福祉学科 通信課程 短期・一般養成施設）が広島県知事指定精神保健福祉士養成施設へ、（社会福祉学科 通信課程・一般養成施設）が広島県知事指定社会福祉士一般養成施設となる</p>
令和元年	<p>広島都市学園大学附属保育園 園舎完成</p>
令和 2 年	<p>広島都市学園大学附属保育園 開園</p>
令和 3 年	<p>広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科に特別支援教育コースを設置</p>

(4) 設置する学校・学部・学科等

令和5年5月1日現在、本法人の設置する学校並びに学科は下記のとおりとなっております。

① 広島都市学園大学 (平成21年4月 開学)

大 学 院	保健学研究科 保健学専攻 (2年課程)
健 康 科 学 部	看 護 学 科 (4年課程)
	リハビリテーション学科 (4年課程)
子 ども 教 育 学 部	子 ども 教 育 学 科 (4年課程)
専 攻 科	言 語 聴 覚 専 攻 科 (2年課程)

② 広島 Law&Business 専門学校 (昭和53年4月 開校)

商 業 実 務 専 門 課 程	カフエビジネス科 (2年課程)
	経 営 ビジネス科 (2年課程)
	法 務 ビジネス科 (2年課程)
文 化 ・ 教 養 専 門 課 程	公 務 員 受 験 科 (2年課程)
	公 務 員 短 期 受 験 科 (1年課程)

③ 専門学校 広島自動車大学校 (平成元年4月 開校)

工 業 専 門 課 程	自 動 車 整 備 科 1 級 自 動 車 整 備 士 コース (4年課程)
	自 動 車 整 備 科 2 級 自 動 車 整 備 士 コース (2年課程)

④ 専門学校 福祉リソースカレッジ広島 (平成7年4月 開校)

教 育 ・ 社 会 福 祉 専 門 課 程	精 神 保 健 福 祉 学 科 (1年課程)
(付帯事業)	
	精 神 保 健 福 祉 学 科 [短期養成施設・通信課程] (9ヶ月課程)
	精 神 保 健 福 祉 学 科 [一般養成施設・通信課程] (1年6ヶ月課程)
	社 会 福 祉 学 科 [一般養成施設・通信課程] (1年6ヶ月課程)

⑤ 広島製菓専門学校 (平成12年4月 開校)

衛 生 専 門 課 程	洋 菓 子 科 (2年課程)
	製 パ ン 科 (2年課程)

⑥ 専門学校 広島工学院大学校 (平成8年4月 開校)

工業専門課程	自動車整備科1級自動車整備士コース (4年課程) ※募集停止中 自動車整備科2級自動車整備士コース (2年課程) 自動車整備科国際エンジニアコース (1年課程) 電気・通信施工学科 (2年課程) 自動車車体整備科 (1年課程)
--------	--

⑦ 広島医療保健専門学校 (平成12年4月 開校)

医療専門課程	理学療法学科 (4年課程)
--------	---------------

⑧ 広島都市学園大学附属保育園 (令和2年4月 開園)

認可保育園	(障害児保育・一時預かり事業・延長保育事業)
-------	------------------------

<所在地>

- ・ 広島都市学園大学  
〈宇品キャンパス〉  
〒734-0014 広島市南区宇品西五丁目 13-18  
〈西風新都キャンパス〉  
〒731-3166 広島市安佐南区大塚東三丁目 2-1
- ・ 学園本部 広島 Law&Business 専門学校 〒730-0811 広島市中区中島町 9-11
- ・ 専門学校 広島自動車大学校 〒735-0006 広島県安芸郡府中町本町二丁目 9-12
- ・ 専門学校 福祉リソースカレッジ広島 〒735-0006 広島県安芸郡府中町本町二丁目 1-17
- ・ 広島製菓専門学校 〒730-0812 広島市中区加古町 1-19
- ・ 専門学校 広島工学院大学校 〒731-3166 広島市安佐南区大塚東三丁目 2-1
- ・ 広島医療保健専門学校 〒731-3166 広島市安佐南区大塚東三丁目 2-1
- ・ 広島都市学園大学附属保育園 〒734-0014 広島市南区宇品西五丁目 13-21

## (5) 学校・学部・学科等の入学定員、学生数等の状況

令和5年5月1日現在  
(単位：人)

## ◎大学部門

学校名	研究科・専攻名	修業年限	入学定員	総定員	令和4年度 卒業生数	令和5年度		
						志願者数	入学者数	在籍者数
広島都市学園大学 大学院	保健学研究科 保健学専攻	2年	10	20	3	1	1	5
大学院 計			10	20	3	1	1	5

学校名	学部・学科名	修業年限	入学定員	総定員	令和4年度 卒業生数	令和5年度		
						志願者数	入学者数	在籍者数
広島都市学園大学	健康科学部看護学科	4年	100	400	93	190	92	394
	健康科学部リハビリテーション学科	4年	100	400	82	182	83	360
	子ども教育学部子ども教育学科	4年	78 (3年次編入4)	312 (編入学8)	32	71 (0)	41 (0)	159
	大学 計		282	1,120	207	443	216	913

学校名	専攻科名	修業年限	入学定員	総定員	令和4年度 卒業生数	令和5年度		
						志願者数	入学者数	在籍者数
広島都市学園大学 専攻科	言語聴覚専攻科	2年	40	40	7	13	12	18
専攻科 計			40	80	7	13	12	18

大学合計			332	1,220	217	457	229	936
------	--	--	-----	-------	-----	-----	-----	-----

## ◎専門学校部門

学校名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	令和4年度 卒業生数	令和5年度		
						志願者数	入学者数	在籍者数
広島 Law&Business 専門学校	カフェビジネス科	2年	20	40	0	7	7	10
	法務ビジネス科	2年	20	40	3	4	4	5
	経営ビジネス科	2年	20	40	0	2	2	2
	公務員受験科	2年	40	80	0	2	2	2
	公務員短期受験科	1年	40	40	1	1	1	1
	小計		140	240	4	16	16	20
専門学校 広島自動車大学校	自動車整備科1級自動車整備士コース	4年	20	80	2	8	8	17
	自動車整備科2級自動車整備士コース	2年	100	200	55	50	49	87
	小計		120	280	57	58	57	104
専門学校 福祉リソースカレッジ広島	精神保健福祉学科	1年	35	35	15	11	11	11
	小計		35	35	15	11	11	11

学校名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	令和4年度 卒業生数	令和5年度		
						志願者数	入学者数	在籍者数
広島製菓専門学校	洋菓子科	2年	70	140	33	59	57	83
	製パン科	2年	40	80	13	10	10	21
	小計			110	220	46	69	67
専門学校 広島工学院大学校	自動車整備科1級自動車整備士コース	4年	10	85	1	0	0	0
	自動車整備科2級自動車整備士コース	2年	70	165	24	27	26	46
	自動車整備科国際コース	1年	20	20	—	1	1	1
	自動車車体整備科	1年	25	25	7	6	6	6
	電気・通信施工学科	2年	40	80	2	8	8	15
	小計			165	375	34	42	41
広島医療保健専門学校	理学療法学科	4年	35	140	19	12	11	48
	小計			35	140	19	12	11

専門学校合計	605	1,290	175	208	203	355
--------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

学校法人 古沢学園 合計	937	2,510	392	665	432	1,291
--------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

◎保育園

施設名	年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広島都市学園大学 附属保育園	0歳	10	4	7	8	7	9	11	11	11	11	11	11	11
	1歳	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	2歳	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	3歳	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	4歳	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	5歳	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	小計	80	77	80	81	80	82	84	84	84	84	84	84	84



(6) 役員概要

令和6年3月31日現在  
定員数 理事 6名、監事 2名

理事・監事の別	常勤・非常勤の別	氏名	選任区分	摘要
理事長	常勤	古澤 宰治	第6条第1項第1号	平成19年3月 理事就任 令和2年10月 理事長就任
理事	常勤	古澤 敏昭	第6条第1項第2号	昭和62年3月 理事就任 令和2年10月 副理事長就任
理事	常勤	才木 裕久	第6条第1項第2号	平成27年4月 理事就任
理事	常勤	半明 英幸	第6条第1項第2号	平成30年3月 理事就任
理事	非常勤	上川 孝明	第6条第1項第3号	平成25年4月 理事就任
理事	非常勤	中村 靖富満	第6条第1項第3号	令和2年3月 理事就任
監事	非常勤	井上 博昭	第7条第1項	昭和62年3月 監事就任
監事	非常勤	山下 智之	第7条第1項	平成31年1月 監事就任

(7) 評議員概要

令和6年3月31日現在  
定員数 13名

常勤・非常勤の別	氏名	選任区分
常勤	古澤 宰治	第22条第1項第1号
常勤	古澤 敏昭	第22条第1項第1号
常勤	半明 英幸	第22条第1項第1号
常勤	村本 一就	第22条第1項第1号
常勤	松浦 健二	第22条第1項第1号
常勤	沖野 美奈穂	第22条第1項第2号
常勤	升本 厚子	第22条第1項第2号
常勤	木原 洋二	第22条第1項第2号
非常勤	広本 秀樹	第22条第1項第2号
常勤	才木 裕久	第22条第1項第3号
非常勤	藤井 昇	第22条第1項第3号
非常勤	上川 孝明	第22条第1項第3号
非常勤	中村 靖富満	第22条第1項第3号

## (8) 教職員の概要

令和5年5月1日現在

(単位：人)

所属	職名	学 長 校 長 園 長	教 員 本 務 者	職 員 本 務 者	計	教 員 兼 務 者	学 校 合 計
広島都市学園大学		1	72	24	97	181	278
広島 Law&Business 専門学校	【1】		10	1	11	12	23
専門学校 広島自動車大学校	(1)		9	2	11	1	12
専門学校 福祉リソースカレッジ 広島	1		5	1	7	11	18
広島製菓専門学校	(1)		8	1	9	27	36
専門学校 広島工学院大学校	1		9	2	12	4	16
広島医療保健専門学校	(1)		7	1	8	51	59
広島都市学園大学附属保育園	1		0	17	18	17	35
学 園 合 計		4	120	49	173	304	477

※学長校長の【 】は広島製菓専門学校の教員本務者が兼務

※学長校長の( )は広島都市学園大学の教員本務者が兼務

※教員兼務者は延べ人数とする

## 2. 事業の概要

### (1) 主要施策

#### **学校法人 古沢学園**

##### ○第三次中期事業計画の策定

第二次中期事業計画（令和2年度～令和6年度）が進行中であるが、実行可能性を示す精緻な道筋及び目標を示すため、1年前倒して令和6年度から令和10年度の5ヶ年の計画で第三次中期事業計画の策定を行った。

##### ○榎町パーク 女子寮 改修工事の実施（令和5年8月～10月）

外壁補修・塗装工事、防水工事、及び照明機器の交換を行った。

#### **広島都市学園大学**

##### ○子ども教育学部子ども教育学科 ジュニアスポーツ教育コースの新設

同科にあらたに中学校教諭一種免許状（保健・体育）並びに高等学校教諭一種免許状（保健・体育）の免許状に係る課程認定申請を行う。この2つの免許状の他、既認定小学校教諭一種免許を加えた3つの免許状取得を目指すジュニアスポーツ教育コースを令和6年4月より開設する。

- ・ 広島都市学園大学の教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請書

R5.3 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課 申請

- ・ 広島都市学園大学の学則の変更について（届出）

R6.5 文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室 届出

##### ○ 令和5年度地域子育て支援拠点事業（公募型常設オープンスペース）の継続

広島都市学園大学宇品キャンパス内に、平成26年7月より、子育て家庭の親とその子ども（おおむね3歳未満の乳幼児及び保護者）がいつでも気軽に集い、相互交流を図るとともに、子育てについての相談などが受けられる場所として「こどもケアセンター いーぐる」開設。令和5年度においても事業継続を行った。

- ・ 「こどもケアセンター いーぐる」 補助金交付申請

R5.4 広島市補助事業選定決定

#### **広島 Law&Business 専門学校**

##### ○該当なし

### **専門学校 広島自動車大学校**

○本町ベース（学生寮）竣工

学生寮建築用地として取得していた安芸郡府中町本町二丁目 400 番地 7 に新学生寮として本町ベースを建設した。

着工：令和 5 年 6 月 1 日

竣工：令和 6 年 1 月 23 日

構造：RC3 階建（1 階駐車場・2～3 階 各階 5 室の計 10 室）

### **専門学校 福祉リソースカレッジ広島**

○『精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針について』の一部改正に伴う精神保健福祉士養成課程のカリキュラムの変更

令和 6 年度実施の精神保健福祉士国家試験より新カリキュラムでの試験科目となる。昨年度変更した精神保健福祉学科 通信課程・一般養成施設【修業年限 1 年 9 ヶ月】に続き、同科 昼間課程・一般養成施設【修業年限：1 年】並びに通信課程・短期養成施設【修業年限：9 ヶ月】の 2 課程について変更を行う。

・精神保健福祉士養成施設等変更申請書

R5.9 広島県健康福祉局疾病対策課 申請

### **広島製菓専門学校**

○該当なし

### **専門学校 広島工学院大学校**

○電気・通信施工学科の令和 6 年度の工事担任者（総合通信）養成課程の認定申請

・工事担任者（総合通信）養成課程 認定申請書

電気・デジタル通信学科 実施期間＜H6.4～R7.3＞

R6.3 総務省 中国総合通信局情報通信部 電気通信事業課 申請

R6.3 認定

### **広島医療保健専門学校**

○該当なし

### **広島都市学園大学附属保育園**

○該当なし

(2) 認可等事項

**広島都市学園大学**

○広島都市学園大学の教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請書

R5.3 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課 申請

R5.12 認定

**専門学校 広島工学院大学校**

○工事担任者（総合通信）養成課程 認定申請書

R6.3 総務省 中国総合通信局情報通信部 電気通信事業課 申請

R6.3 認定

(3) 学則等の改正

**広島都市学園大学**

○転学部および転学科制度の導入により、学則第 18 条の 3 の追加及び付則の改正を行う。

(R5.12.25 施行)

R5.12 理事会承認

○健康科学部リハビリテーション学科の教育課程の見直し、子ども教育学部子ども教育学科におけるジュニアスポーツ教育コースの設置並びに特別支援教育コースの指定規則等の変更に伴う教育課程の変更、及び大学部長会の位置づけの変更に伴い、学則第 4 条第 2 項、第 19 条別表 2 No.1～No.5、第 19 条別表 3 No.1～No.5、第 19 条別表 4 No.1～No.7、第 26 条、第 28 条第 1 項並びに同条第 6 項、第 29 条第 2 項、第 30 条、第 31 条第 2 項、第 32 条第 2 項、第 33 条第 1 項、第 34 条、第 35 条第 1 項、第 45 条、附則の改正を行う。

(R6.4.1 施行)

R6.3 理事会承認

**専門学校 福祉リソースカレッジ広島**

○精神保健福祉士養成課程における教育内容等の見直しに伴い、学則第 8 条、第 15 条別表 1、第 17 条、第 26 条及び付則の改正を行う。

(R6.4.1 施行)

R5.12 理事会承認

**専門学校 広島工学院大学校**

○電気・通信施工学科の教育課程の見直しに伴い、学則第 15 条別表 1 及び付則の改正を行う。

(R6.4.1 施行)

R6.3 理事会承認

**広島医療保健専門学校**

○理学療法学科の教育課程の変更により、学則第 15 条別表 1 及び付則の改正を行う。

(R6.4.1 施行)

R5.8 理事会承認

(4) その他規程の整備・改正

**新規整備**

- 広島都市学園大学転学部および転学科に関する規程（内規）（R5. 12. 25 施行） R5. 12 理事会承認
- 電子帳簿保存法の対応に伴う電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程  
(R5. 12. 25 施行) R5. 12 理事会承認
- 学校法人古沢学園 育児・介護休業規程（R6. 4. 1 施行） R5. 12 理事会承認

**一部改正**

- 広島都市学園大学 大学部長会規程（R5. 5. 27 一部改正・施行） R5. 5 理事会承認
- 広島都市学園大学 大学教授会規程（R5. 5. 27 一部改正・施行） R5. 5 理事会承認
- 広島都市学園大学大学院保健学研究科委員会規程（R5. 5. 27 一部改正・施行） R5. 5 理事会承認
- 広島都市学園大学 学部（学科）長任用規程（R5. 4. 1 一部改正・施行） R5. 5 理事会承認
- 学校法人古沢学園 就業規則（R6. 4. 1 一部改正・施行） R5. 12 理事会承認
- 学校法人古沢学園 賃金規程（R6. 4. 1 一部改正・施行） R5. 12 理事会承認
- 広島都市学園大学附属保育園 就業規則（R6. 4. 1 一部改正・施行） R5. 12 理事会承認
- 広島都市学園大学附属保育園 育児・介護休業規程  
(R6. 4. 1 一部改正・施行) R5. 12 理事会承認
- 広島都市学園大学附属保育園 賃金規程（R6. 4. 1 一部改正・施行） R5. 12 理事会承認
- 学校法人古沢学園 教職員退職金規程（H23. 5. 25 一部改正・施行） R5. 5 理事会承認
- 広島都市学園大学附属保育園 退職金規程（R2. 4. 1 一部改正・施行） R5. 5 理事会承認

**廃止**

- 育児休業および育児短時間勤務に関する規程（R6. 3. 31 廃止） R5. 12 理事会承認
- 介護休業および介護短時間勤務に関する規程（R6. 3. 31 廃止） R5. 12 理事会承認

## (5) 主な教育・研究の概要

### ◎広島 Law & Business 専門学校

公務員受験科、公務員短期受験科、カフェビジネス科、経営ビジネス科、法務ビジネス科の5つの学科を設置する。公務員受験科並びに公務員短期受験科では、公務員としての深い教養とビジネス能力を習得させる。カフェビジネス科では、オリジナリティのあるカフェに必要な技能とビジネス知識を、経営ビジネス科では店長・経営者としての基礎力を、法務ビジネス科ではビジネススキルをあわせ持つ社会で活躍できる法律家（宅地建物取引士・行政書士）を養成する。

それぞれの学科で特性は異なるが、「協調性」、「向上心」、「自主性」を教育方針とし、各分野の資格取得、知識と技術の修得を目指す教育内容となっており、即戦力となる人材の養成を目的としている。

### ◎専門学校 広島自動車大学校

自動車整備科に1級自動車整備士コース並びに2級自動車整備士コースを設置し1級小型自動車整備士・2級自動車整備士の養成を行う。本校は国土交通省指定の1種養成施設で、1級小型自動車整備士資格試験並びに2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士資格試験の実技試験免除校である。

自動車整備士は地域社会を支え、人の命に関わる自動車の整備に従事する職業となるため、高い知識と技術の修得を教育目的とし、国家資格全員合格を目指す教育の質を担保できる教育課程となっている。

令和5年度卒業生の国家資格試験の結果は、2年連続の100%とはならなかったが、2級ガソリン自動車整備士97.3%（全国平均86.8%）、2級ジーゼル自動車整備士97.3%（全国平均93.4%）、1級小型自動車整備士（筆記試験）は100%（全国平均59.1%）と継続して高い合格率を達成した。

### ◎専門学校 福祉リソースカレッジ広島

精神保健福祉学科（昼間課程・通信課程）、社会福祉学科（通信課程）を設置し、精神保健福祉士、社会福祉士の人材養成を行う。

教育手法は異なるものの、福祉分野の学科のため、知識、技能は勿論、福祉の概念、コミュニケーション能力を修得するためのカリキュラム構成とし、かつ国家試験に合格できる教育内容である。

精神保健福祉学科では心の病気・精神障がいに苦しむクライアントを援助できる精神保健福祉士を、社会福祉学科では高齢者や障がい者、日常生活が困難な人たちを援助する社会福祉士の養成を目標とする。

令和5年度卒業・修了生の精神保健福祉士・社会福祉士国家試験の合格率は、精神保健福祉士は全国平均70.4%に対し、精神保健福祉学科（昼間課程）100%を達成し、精神保健福祉学科（通信課程・短期）は93.6%、精神保健福祉学科（通信課程・一般）は72.7%と大きく全国平均を超えた。社会福祉士についても、全国平均58.1%に対して、社会福祉学科（通信課程・一般）84.0%と全国平均を大きく超える実績を残した。

### ◎広島製菓専門学校

洋菓子科と製パン科を設置し、「パティシエ」や「ブーランジェ」の人材を養成する。食品学、公衆衛生学、食品衛生学、衛生法規、栄養学を基礎として食の安全に必要な知識を有し、各業界で活躍できる技術取得を目指している。授業も実習中心のカリキュラムで、洋菓子科では製菓に関する

る基本的な材料の知識や製品の組合せ（パターン）を体系的に学び、現場に出て即戦力となる技術（基本動作・作業手順）を習得し、製パン科では製パンの技術と知識を基礎から専門まで習得する。

技能五輪全国大会（洋菓子製造職種）では、本校学生は12年連続で上位入賞し、2023年度は4年連続、本校5度目の金賞を受賞した。また、2023 ジャパン・ケーキショー東京のエコール部門「マジパン仕上げ」において、4名参加し全員入賞（銀賞1名、銅賞3名）した。

### ◎専門学校 広島工学院大学校

自動車整備科（1級自動車整備士コース並びに2級自動車整備士コース）、自動車車体整備科、電気・通信施工学科を設置する。自動車整備科1級自動車整備士コース、2級自動車整備士コースは、専門学校広島自動車大学校と同様、国土交通省指定の1種養成施設校で、1級小型自動車整備士資格試験並びに2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士資格試験国家資格の全員合格を目指す。

自動車車体整備科は、2級自動車整備士取得者が入学の対象であり、修得した自動車整備士としての知識、技能に加え、板金や塗装、車体修正の実習を中心とした教育内容で、事故車修正の技術、技能を身につける。

電気・通信施工学科は、第二種電気工事士の国家資格と、ネットワーク接続技術養成認定校として、工事担任者〔総合通信〕というネットワークの国家資格が卒業後に取得できる学科で、電気工事や情報通信工事のエキスパートを養成する。

全ての学科において、社会のインフラを支える業種であるため、責任ある教育を目指している。

令和5年度卒業生の国家資格試験の結果は、自動車関係では、自動車整備科2級自動車整備士コースは2級ガソリン自動車整備士並びに2級ジーゼル自動車整備士のいずれも100%、自動車車体整備科の自動車車体整備士についても100%（全国平均92.5%）で、2年連続の全員合格の100%を達成した。また電気・通信施工学科では、工事担任者〔総合通信〕100%（全国平均29.4%）、第一種電気工事士83.3%（全国平均37.7%）、第二種電気工事士100%（全国平均42.1%）、第二級陸上特殊無線技士100%（全国平均未発表）と高い合格実績を残した。

### ◎広島医療保健専門学校

理学療法学科を設置し、4年間で理学療法士としての知識と技能を身につけ、理学療法士国家試験に合格できる能力を身につける教育を行う。

また、事故や病気によってダメージを受けた人たちに対して、立ち上がる、歩くなどの基本的な動作能力の回復を図り、社会生活を取り戻せるように寄り添ってサポートできる医療人としての知識、技術、倫理やコミュニケーション能力を身につけることを目標としている。

令和4年度よりあらたに導入した学び合い型授業の取り組みにより、令和5年度卒業生の理学療法士国家試験において100%（新卒 全国平均95.3%）を達成した。

### ◎広島都市学園大学大学院 保健学研究科

本研究科では、保健学領域における高度な専門性や研究能力あるいは教育力を持ち、組織内並びに組織間において、プロアクティブに行動し、調整力やリーダーシップを兼ね備え、卓越したマネジメント力を発揮しうる人材を養成する。

また、本研究科では、地域・生活向上支援学領域、健康増進・障害予防学領域、保健学教育・組織マネジメント領域の3つの研究領域を設け、それぞれの研究領域において新しい理論と方法論の構築を試み、修士論文作成に結びつける。



### ◎広島都市学園大学 健康科学部 看護学科

健康科学部看護学科では、人間科学（看護）の領域における教授研究を通じて、心と技を備えた人間性豊かな看護系職業人の育成を目標とし、高度化・多様化する医療の現場で将来リーダーとなれる人材を育成することを目的としている。豊富な実習と講義を通して高度な医療技術、そして平和な心と豊かな人間性を持ち合わせた看護師を目指している。

### ◎広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科

健康科学部リハビリテーション学科では、人間科学（リハビリ）の領域における教授研究を通じて、心と技を備えた人間性豊かな看護系職業人の育成を目標とし、高度化・多様化する医療の現場で将来リーダーとなれる人材を育成することを目的としている。患者様から信頼していただき、痛みや訴えに共感できる感性を養いながら、何事も諦めず、自分ができる事を探求していける人材を育成することを目的としている。

### ◎広島都市学園大学 子ども教育学部 子ども教育学科

子ども教育学部子ども教育学科では、教育・保育の知識・技能はもちろんのこと、教育的ケアや福祉的ケアを理解し、子どもたち一人ひとりのことを考えて関わる方法を教授研究する。さらに、子どもの身体や病気・保健に関わる最新の情報や医療的ケアの方法、カウンセリング技法など、現在の子どもの育成に必要な知識・技能の修得を目指す。一人ひとりの子どもの身体・心を理解し、子どもたちの豊かな未来を創造する人材を育成する。

\*各分野の教育・研究業績はホームページを参照

## (6) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

### 第二次中期事業計画（令和2年4月～令和7年3月）

専門学校部門については、定員充足率が引き続き低迷を続けており、第一次中期事業計画に引き続き、各校の事業内容の見直し、再編による“事業のスクラップアンドビルド”を継続する必要がある。

とりわけ、事業環境が好転しない中で在籍者数減少と赤字業績の連続に悩まされてきた専門学校福祉リソースカレッジ広島について、再編効果の有無を評価した上で、事業継続の可否を判断することが必要となる。

一方、専門学校部門の中核事業と位置付けている自動車整備士養成専門学校、製菓専門学校については、その充実強化に注力する。その際、外国人留学生の積極的受入れが重要な課題の一つであると判断し、外国人留学生を対象とした教育プログラムの検討が重要なテーマの一つとなる。

大学部門については、第一次中期計画期間中において、将来的に18歳人口が大幅に減少することに伴う高校卒業生数の減少予測を踏まえ、社会人の学び直しニーズに応える形で、平成30年度から、看護・リハビリ分野の研究機関としての大学院保健学研究科（修士課程）及び言語聴覚士（大卒対象）を養成する専攻科をスタートさせた。

今後は、リカレント教育の拡充をめざし、入学者の多様化、つまり社会人、女性、外国人留学生、高齢者等の多様な教育的ニーズに対応しうる教育研究機関になることを目指す。

## I. 専門学校部門の事業進捗状況

### ◎専門学校部門の“事業のスクラップアンドビルド”

#### (1) 専門学校 福祉リソースカレッジ広島の事業内容の見直し

介護福祉士科は、令和4年度末をもって学科廃止とした。同校の精神保健福祉学科の通学課程については、令和4年度以降広島県の長期高度人材育成コースの委託訓練が開始したため、学生募集についてはさらなる強化が必要であるが、通信教育課程と併せ事業継続を行う。

#### (2) 専門学校 広島自動車大学校、専門学校 広島工学院大学校の事業見直し

外国人留学生の積極的受け入れを計画し、これに沿って令和5年4月より専門学校広島工学院大学校に外国人留学生の受け入れ枠として「国際エンジニアコース」（1年課程）を開設した。折悪しくも開設時期がコロナ禍と重なったため国内の日本語学校に在籍する留学生数が激減しており、その影響を強く受けて当該コースの初年度入学生は1名にとどまった。しかし、コロナ明けとともに日本語学校への留学生も戻りつつあり、自動車整備士を目指す日本語学校への留学生は常に一定数いるとされ、今後、当該コースへの入学者数はさらに増加すると見込んでいる。併せて、その他の学科においても外国人留学生の確保に努めている。

#### (3) 広島 Law&Business 専門学校の事業見直し

本学園の祖業でもある法務・経営系の教育事業を、環境重視、グローバル化といった社会的ニーズにこたえる実践的ビジネス人材の育成の観点から事業内容の見直しを行い、立て直しを図る計画であるが、今年度においても、具体的な事業計画に至っていない。

## II. 大学部門の事業進捗状況

### ◎大学の事業拡大

#### (1) 学部・学科の増設

今後の学部・学科の増設については、今後の高等教育の将来展望を踏まえた本学のあるべき姿を描きつつ、新たな社会ニーズに応え得る事業内容とその市場性について検討を行う。

また、収容定員の変更は伴わない新コースの設置であるが、開設時より定員未充足が続く子ども教育学部子ども教育学科へ令和6年4月よりジュニアスポーツ教育コースを設置し、同学科の充足率の改善を図る。

本コースは、近年、子どもの体力低下が指摘されている一方、子どもの発達段階に応じて適切なスポーツ指導ができる小学校教員が少ないといった社会的状況への本学の対応として、卒業と同時に、小学校教員一種免許・中学校・高校一種免許（保健体育）の3つの免許を同時に取得できるコースである。

#### (2) 大学院教育の深化及び学術研究の高度化

医療系人材の養成を目的とした学部教育への需要が益々高まりを見せ、多くの大学において医療系人材養成学部・学科が開設されている中で、今後本学が競争力を維持していくには質の高い大学教員の安定的確保が重要な課題である。

このことに鑑み、自前で質の高い研究者の養成を行うため、既設の大学院保健学研究科修士課程を基盤とする博士後期課程の新設も検討は進めているものの、設置には至っていない。引き続き、ニーズ調査を行うとともに、継続して同課程の設置準備を継続する。むしろ現状としては、前期の修士課程への入学者確保の改善が優先課題である。

#### (3) 社会人教育の充実

社会人対象の学び直し教育のコースやプログラムを検討する計画に係り、令和4年度より子ども教育学部において社会人を対象とした免許法法定講習事業を遠隔授業形式により開始した。

## III. その他の事業進捗状況

#### (1) 認可保育園から「認定こども園」への移行

令和2年4月に認可保育園を開園し4年目を迎えた。入園者も計画どおり令和4年度より定員を充足し、今年度も園児の受入も定員確保した。今後も引き続き入園者の推移をみながら、開園5年後を目途に「認定こども園」の移行に向けて引き続き検討を行う。

#### (2) 収益事業を担う「株式会社古沢学園」の事業計画の検討

学校法人の経営の効率化や資産の有効活用を目的として、不動産管理、人材派遣あるいは物品販売等、学園の資産、学生を対象とした収益事業の展開を想定しているが、今年度においても具体的な事業計画までに至っていない。

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ① 貸借対照表関係

##### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産	8,890,532	8,749,458	8,617,968	8,671,372	8,802,564
流動資産	2,351,328	2,377,343	2,589,319	2,626,585	2,710,249
資産の部合計	11,241,860	11,126,801	11,207,287	11,297,957	11,512,813
固定負債	772,670	714,900	657,130	602,546	713,783
流動負債	1,318,770	1,040,365	938,037	926,085	928,524
負債の部合計	2,091,440	1,755,265	1,595,167	1,528,631	1,642,307
基本金	11,122,509	11,526,607	11,641,060	11,944,633	12,109,648
繰越収支差額	△ 1,972,089	△ 2,155,071	△ 2,028,940	△ 2,175,307	△ 2,239,142
純資産の部合計	9,150,420	9,371,536	9,612,120	9,769,326	9,870,506
負債及び純資産の部合計	11,241,860	11,126,801	11,207,287	11,297,957	11,512,813

##### イ) 財務比率の経年比較

財務比率 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産構成比率	79.1%	78.6%	76.8%	76.7%	76.4%
有形固定資産構成比率	78.1%	77.4%	75.5%	75.2%	74.7%
流動資産構成比率	20.9%	21.3%	23.1%	23.2%	23.5%
流動負債構成比率	11.7%	9.3%	8.3%	8.1%	8.0%
内部留保資産比率	0.3%	5.5%	8.2%	9.2%	8.2%
運用資産余裕比率	0.5年	0.7年	0.8年	0.9年	0.7年
純資産構成比率	81.4%	84.2%	85.7%	86.4%	85.7%
繰越収支差額構成比率	-17.5%	-19.3%	-18.1%	-19.2%	-19.4%
固定比率	97.2%	93.3%	89.6%	88.7%	89.1%
固定長期適合率	89.6%	86.7%	83.9%	83.6%	83.1%
流動比率	178.3%	228.5%	276.0%	283.6%	291.8%
総負債比率	18.6%	15.7%	14.2%	13.5%	14.2%
負債比率	22.9%	18.7%	16.5%	15.6%	16.6%
前受金保有率	277.1%	304.5%	373.0%	391.0%	438.5%
基本金比率	90.8%	93.7%	94.1%	94.7%	93.7%
減価償却比率	42.4%	45.5%	47.8%	50.3%	50.7%
積立率	63.7%	66.9%	67.2%	64.7%	62.2%

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

収入の部

(単位：千円)

科目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	1,787,999	1,778,592	1,810,384	1,755,266	1,682,062
手数料収入	20,133	20,200	18,873	16,591	14,325
寄付金収入	0	2,746	240	200	18,300
補助金収入	276,413	187,011	183,683	208,238	211,477
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	91,526	175,612	190,320	204,524	222,211
受取利息・配当金収入	751	819	745	930	759
雑収入	57,140	27,796	33,068	39,836	40,802
借入金等収入	100,000	100,000	100,000	100,000	300,000
前受金収入	767,248	764,751	676,603	656,762	592,062
その他の収入	485,120	667,606	511,697	645,313	517,450
資金収入調整勘定	△ 947,591	△ 780,540	△ 789,043	△ 694,646	△ 701,801
前年度繰越支払資金	2,014,286	2,125,897	2,323,612	2,524,166	2,568,413
収入の部合計	4,653,025	5,070,490	5,060,182	5,457,180	5,466,060

支出の部

(単位：千円)

科目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	1,149,115	1,186,809	1,209,566	1,227,078	1,227,122
教育研究経費支出	229,062	322,355	320,888	362,323	358,557
管理経費支出	231,307	217,064	222,532	227,343	250,928
借入金等利息支出	11,142	10,176	9,508	8,796	8,345
借入金等返済支出	179,990	157,770	157,770	157,770	157,770
施設関係支出	449,255	24,010	43,509	250,985	256,414
設備関係支出	27,120	42,139	34,173	21,777	90,179
資産運用支出	37,733	18,898	18,848	18,849	18,899
その他の支出	546,389	839,983	590,196	700,612	617,547
資金支出調整勘定	△ 333,985	△ 72,326	△ 70,974	△ 86,766	△ 115,999
翌年度繰越支払資金	2,125,897	2,323,612	2,524,166	2,568,413	2,596,298
支出の部合計	4,653,025	5,070,490	5,060,182	5,457,180	5,466,060

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,045,011	2,191,650	2,235,544	2,224,452	2,164,487
教育活動資金支出計	1,609,484	1,725,837	1,751,665	1,816,669	1,836,607
差引	435,527	465,813	483,879	407,783	327,880
調整勘定等	238,964	△ 16,600	△ 88,317	△ 11,978	△ 66,873
教育活動資金収支差額	674,491	449,213	395,562	395,805	261,007
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	164,835	0	0	0	24,690
施設整備等活動資金支出計	476,376	66,148	77,682	272,762	346,593
差引	△ 311,541	△ 66,148	△ 77,682	△ 272,762	△ 321,903
調整勘定等	△ 161,418	159,265	3,239	4,919	△ 35,204
施設整備等活動資金収支差額	△ 472,959	93,117	△ 74,443	△ 267,843	△ 357,107
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	201,532	542,330	321,119	127,962	△ 96,100
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	603,435	594,608	601,909	720,299	799,843
その他の活動資金支出計	711,267	684,247	695,812	807,364	679,337
差引	△ 107,832	△ 89,639	△ 93,903	△ 87,065	120,506
調整勘定等	17,911	△ 254,976	△ 26,662	3,351	3,479
その他の活動資金収支差額	△ 89,921	△ 344,615	△ 120,565	△ 83,714	123,985
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	111,611	197,715	200,554	44,248	27,885
前年度繰越支払資金	2,014,286	2,125,897	2,323,612	2,524,165	2,568,413
翌年度繰越支払資金	2,125,897	2,323,612	2,524,166	2,568,413	2,596,298

ウ) 財務比率の経年比較

財務比率	年度				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支差額比率	32.9%	-0.8%	17.6%	17.7%	12.0%

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	1,787,999	1,778,593	1,810,384	1,755,266	1,682,062
	手数料	20,133	20,200	18,873	16,591	14,325
	寄付金	1,305	4,304	2,367	200	18,300
	経常費等補助金	111,578	187,011	183,683	208,238	186,787
	付随事業収入	91,526	175,612	190,320	204,524	222,211
	雑収入	33,774	27,489	32,044	39,633	40,802
	教育活動収入計	2,046,315	2,193,209	2,237,671	2,224,452	2,164,487
	事業活動支出の部					
	人件費	1,149,115	1,186,809	1,209,566	1,230,264	1,236,128
	教育研究経費	426,626	520,868	510,416	564,096	551,106
	管理経費	241,523	246,741	252,907	254,011	277,435
	徴収不能額等	784	728	0	10	0
	教育活動支出計	1,818,048	1,955,146	1,972,889	2,048,381	2,064,669
教育活動収支差額	228,267	238,063	264,782	176,071	99,818	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	750	819	744	930	759
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	750	819	744	930	759
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	11,142	10,176	9,508	8,796	8,345
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
教育活動外支出計	11,142	10,176	9,508	8,796	8,345	
教育活動外収支差額	△ 10,392	△ 9,357	△ 8,764	△ 7,866	△ 7,586	
経常収支差額	217,875	228,706	256,018	168,205	92,232	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	188,201	307	1,025	1,485	28,056
	特別収入計	188,201	307	1,025	1,485	28,056
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	7,462	7,506	15,138	12,410	19,109
	その他の特別支出	0	391	1,321	74	0
	特別支出計	7,462	7,897	16,459	12,484	19,109
	特別収支差額	180,739	△ 7,590	△ 15,434	△ 10,999	8,947
	基本金組入前当年度収支差額	398,614	221,116	240,584	157,206	101,179
基本金組入額合計	△ 269,429	△ 418,745	△ 140,085	△ 334,362	△ 209,696	
当年度収支差額	129,185	△ 197,629	100,499	△ 177,156	△ 108,517	
前年度繰越収支差額	△ 2,112,916	△ 1,972,089	△ 2,155,072	△ 2,028,940	△ 2,175,307	
基本金取崩額	11,642	14,646	25,632	30,789	44,682	
翌年度繰越収支差額	△ 1,972,089	△ 2,155,072	△ 2,028,941	△ 2,175,307	△ 2,239,142	
(参考)						
事業活動収入計	2,235,266	2,194,335	2,239,440	2,226,867	2,193,302	
事業活動支出計	1,836,652	1,973,219	1,998,856	2,069,661	2,092,123	

イ) 財務比率の経年比較

財務比率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率	56.1%	54.0%	54.0%	55.2%	57.0%
人件費依存率	64.3%	66.7%	66.8%	70.0%	73.4%
教育研究経費比率	20.8%	23.7%	22.8%	25.3%	25.4%
管理経費比率	11.8%	11.2%	11.2%	11.4%	12.8%
借入金等利息比率	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%
事業活動収支差額比率	17.8%	10.0%	10.7%	7.0%	4.6%
基本金組入後収支比率	93.4%	111.1%	95.2%	109.3%	105.4%
学生生徒等納付金比率	87.3%	81.0%	80.8%	78.8%	77.6%
寄付金比率	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.9%
経常寄付金比率	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.8%
補助金比率	12.4%	8.5%	8.2%	9.3%	9.6%
経常補助金比率	5.5%	8.5%	8.2%	9.3%	8.6%
基本金組入率	-12.1%	-19.0%	-6.2%	-15.0%	-9.5%
減価償却額比率	11.1%	11.2%	10.8%	11.0%	10.5%
経常収支差額比率	10.6%	10.4%	11.4%	7.5%	4.2%
教育活動収支差額比率	11.2%	10.8%	11.8%	7.9%	4.6%

(2) その他

① 有価証券の状況

種 類	貸借対照表計上額
日本電信電話株式会社	373,500 円
日本電信電話株式会社	747,000 円
合 計	1,120,500 円

② 借入金の状況

借 入 先	期 末 残 高	利 率	返 済 期 限
日本私立学校振興・共済事業団	361,100,000円	1.200%	令和15年9月15日
日本私立学校振興・共済事業団	238,260,000円	1.100%	令和17年3月15日
三井住友銀行	200,000,000円	0.720%	令和11年1月22日
広島銀行	100,000,000円	0.750%	令和 6年8月15日
合 計	899,360,000円		

③ 学校債の状況

学校債はなし

④ 寄付金の状況

種 別	金 額
一般寄付金	18,300,000円
現物寄付(教育研究用機器備品)	2,658,555円
現物寄付(図書)	607,457円
現物寄付(消耗品費)	100,000円
合 計	21,666,012円

⑤ 補助金の状況

種 別	金 額
私立大学等経常費補助金	67,078,000円
授業料等減免費交付金	77,244,900円
選手強化訓練材料等支援費	1,727,317円
私立学校施設設備費補助金	24,690,000円
地方公共団体補助金	40,736,329円
合 計	211,476,546円

⑥ 収益事業の状況

収益事業はなし

⑦ 関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

氏 名	属 性	取 引 の 内 容	取 引 金 額	取引条件及び取引条件の決定方針
古 澤 敏 昭	理 事	家賃の支払	1,800,000円	不動産の賃貸は、近隣の賃貸条件を勘案した上で協議し、賃貸契約を締結している
合 計			1,800,000円	

イ) 出資会社

出資会社はなし

⑧ 学校法人間財務取引

学校法人間財務取引はなし



(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営状況の分析

事業活動収支計算書の状況は、教育活動収支差額は前年比43.3%の減少、経常収支差額は45.1%の減少で、基本金組入前当年度収支差額は35.6%の減少となりました。

事業活動収入は前年比1.5%の減少、事業活動支出は1.0%の増加となっています。教育活動収支の事業活動支出において、人件費0.4%の増加、教育研究経費2.3%の減少、管理経費が9.2%増加と、人件費・管理経費は増加していますが教育研究経費は減少し、教育研究経費比率は25.4%と前年より0.1ポイント減少しましたが、同系統の法人と比べ低くなっていますので、増加させていく必要があります。

また、教育活動収入は前年比2.6%減少しましたが、今後も学生支援のさらなる充実をはかり休学・退学者を削減し、入学者の定員を充足させ、学生生徒等納付金を増加させていかなければなりません。

資金収支計算書の状況は、繰越支払資金を除いた収入合計は、前年比1.2%の減少となりました。増加は寄付金収入、補助金収入1.5%、付随事業・収益事業収入8.6%、雑収入2.4%、学生寮建設による借入金等収入が増加しています。一方減少は、学生生徒等納付金収入4.1%、手数料収入13.6%、受取利息・配当金収入18.3%、前受金収入9.8%が減少しています。

繰越支払資金を除いた支出合計は、前年比0.6%の減少となりました。人件費支出が微増、管理経費支出10.3%、施設関係支出2.1%、設備関係支出314.1%、資産運用支出0.2%が増加しています。一方減少は、教育研究経費支出1.0%、借入金等利息支出5.1%が減少しています。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は前年度より1.0%増加いたしました。

活動区分資金収支計算書の状況は、教育活動資金収入計が前年比2.6%の減少、教育活動資金支出計は1.0%の増加となり、今年度は学生寮建設費用209,368千円等の大規模な事業で330,227千円支出していますので、繰越支払資金は1.0%の増加でしたが、前年度の増加率を下回りました。第三次中期事業計画を計画通りに進捗させるため、増加額をさらに増加させなければなりません。

貸借対照表の状況は、資産の部は、固定資産が前年比1.5%の増加、流動資産は3.1%の増加で、資産の部合計は1.9%の増加となりました。

負債の部は、固定負債が前年比18.4%の増加、流動負債が前年比0.2%の増加で、負債の部合計は7.4%の増加となり、純資産の部合計は1.0%の増加と毎年度増加を続けていますが、前年度の増加率を下回りました。

なお、経営状況の分析にあたり、日本私立学校振興・共済事業団が提供する「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の分析(法人全体)」を利用しています。

(引用：[https://www.shigaku.go.jp/files/s\\_center\\_shihyo27-1.pdf](https://www.shigaku.go.jp/files/s_center_shihyo27-1.pdf))

(単位：百万円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
① 教育活動資金収支差額 (3か年のうち2か年以上赤字である)	674 いいえ	449 いいえ	396 いいえ	396 いいえ	261 いいえ
④ 外部負債 (約定年数又は10年以内に返済できない)	1,257 いいえ	934 いいえ	867 いいえ	820 いいえ	985 いいえ
⑤ 修正前受金保有率 (100%未満)	277.1% いいえ	304.6% いいえ	373.1% いいえ	391.0% いいえ	438.5% いいえ
⑥ 経常収支差額 (3か年のうち2か年以上赤字である)	218 いいえ	229 いいえ	256 いいえ	168 いいえ	92 いいえ
⑦ 黒字幅 (10%未満か)	10.6% いいえ	10.4% いいえ	11.4% いいえ	7.5% はい	4.2% はい
⑧ 積立率 (100%未満か)	63.7% はい	65.5% はい	67.2% はい	64.7% はい	62.2% はい
判 定	A 2	A 2	A 2	A 3	A 3

判定 A 1・A 2・A 3

B 0

B 1・B 2・B 3・B 4・C 1・C 2・C 3

D 1・D 2・D 3

正常状態

イエローゾーンの予備的段階

イエローゾーン

レッドゾーン

経営判断指標に基づいて直近5年間の経営状態を区分すると、令和元年度から令和3年度の判定はA 2、令和4年度と令和5年度の判定はA 3の判定となっています。

## ② 経営上の成果と課題

学部・学科等の開設準備年度を除けば、繰越支払資金は毎年度増加しています。

経常収支差額および基本金組入前当年度収支差額は前年度を下回りましたが、収入超過となっています。

収入面では、経常収入に対する学生生徒等納付金の割合が高いため、収容定員充足率が経営に影響を与えていますので、学生の確保を重要課題として取り組むと同時に、学生生徒等納付金以外（寄付金や補助金等）の収入の増加と多様化を図る必要があります。

支出面では、財務状況を踏まえた適正かつ厳格な人員管理を行い、人件費比率50%台後半を維持し、経費の分析・精査等を通じて、管理経費比率について全国平均と同程度に抑制し、教育研究活動に充当する支出の増加を目指していかなければなりません。

## ③ 今後の方針・対応方策

少子化による18歳人口の減少にともない大学・専門学校進学者数も減少傾向にあり、今後さらに厳しい状況となることが予想される。収容定員充足率の維持・向上のための施策として、広島都市学園大学健康科学部については、志願者確保に向けて入試・広報課の機能強化は前提とし、戦略的な取り組みを行い、多様な学生の確保等の観点から、総合型選抜入試・指定校推薦入試の志願者数の増加・安定を図り、一般選抜型入試の志願者数の増加を図るとともに、令和6年度入学試験志願者数を起点とし、5年間で志願者数を1.5倍以上に増加させることを目標といたします。

広島都市学園大学子ども教育学部については、令和2年度から総合型選抜は様々な特徴を持つ生徒が志願しやすいよう3つの方式としました。

また、学校推薦選抜においては学力を重視した「指定校」に加えて、高校時にクラブ活動等においてスポーツや芸術文化活動で活躍した生徒を募集するために、スポーツ・芸術文化活動方式指定校を取り入れました。

大学入試が総合型選抜・学校推薦型選抜といった前半型の入学試験の比率が高まっている中、本学もその傾向にあります。とは言え、絶対数が少ないのが大きな課題であります。

この度、この現状を打開するために新しいコースを新設しました。このコースでは、従来の小学校教諭免許に加えて中学校教諭（保健体育）と高等学校教諭（保健体育）免許が取得できます。中学校教諭（保健体育）・高等学校教諭（保健体育）に関心がある高校生に今まで本学になかった新たな魅力を発信することができるようになります。

その他、創部1年目で1部に昇格した女子バスケットボール部をこれまでなかった新しい魅力として引き続き、アピールしていきます。

また、0, 1, 2歳児とその保護者が集い交流するこどもケアセンター“いーぐる”や広島都市学園大学附属保育園といった、本学ならではの施設を再度アピールポイントとして活用します。

新たに、子ども教育学科の教員が在学生の出身高校を中心に高校訪問を実施し、高校の教員へ直接本学子ども教育学科の特徴をPRするとともに在学生の大学での様子を報告します。

専門学校部門については、高等学校等との良好な連携を図り、積極的な広報活動を行うとともに、各種PR方法を活用した多角的な広報活動を展開する。

また、学生がもつめる魅力あるオープンキャンパスの開催により参加者数増加を目指し、指定校推薦、トライ入試での出願者を増やす。また、高校独自で開催するガイダンスの実施校数・出張授業の継続と増加等により、オープンキャンパスへの参加につなげ、出願・入学につなげていきます。